

ADVANTEST®



2023年度（2024年3月期） 決算説明会

2024年4月26日
株式会社アドバンテスト

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。

2023年度決算報告

経営執行役員
CFO & CSO (Chief Strategy Officer)
経営戦略本部長 三橋 靖夫

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

FY23業績総括

- FY23通期の売上高、営業利益、当期利益は前年度比で減収減益
- しかしながら、SoCテスト、メモリ・テストの両市場でマーケットシェアを拡大
- 生成AI関連で高性能DRAM向け売上が増加。一方で、SoCテスト市場が想定以上に減速
- 製品ミックスでは、高収益を生む先端プロセス向けSoCテストの売上比率が低下
- 減収率は、軟調な市況の中でも22年7月時点の当社予想^{*1}の範囲内にとどまる

* 1: 22年7月の第2期中期経営計画 改訂時のFY23売上高想定 前年度比-約15%~+約10%

FY23業績概要

(億円)

	FY22		FY23		
	実績	1月時点 予想	実績	前年度比	
				増減額	増減率
売上高	5,602	4,800	4,865	-737	-13.2%
営業利益	1,677	850	816	-861	-51.3%
営業利益率	29.9%	17.7%	16.8%	-13.1pts	
税引前利益	1,713	825	782	-931	-54.4%
当期利益	1,304	645	623	-681	-52.2%
当期利益率	23.3%	13.4%	12.8%	-10.5pts	
為替レート	1米ドル	134円	143円	143円	9円 円安
	1ユーロ	140円	154円	155円	15円 円安
1株当たり配当額（年間）*1	33.75円	-	34.25円*2	+0.5円	
自己株式取得額	500	-	-	-	
総還元性向*3	58%	-	41%	-17pts	

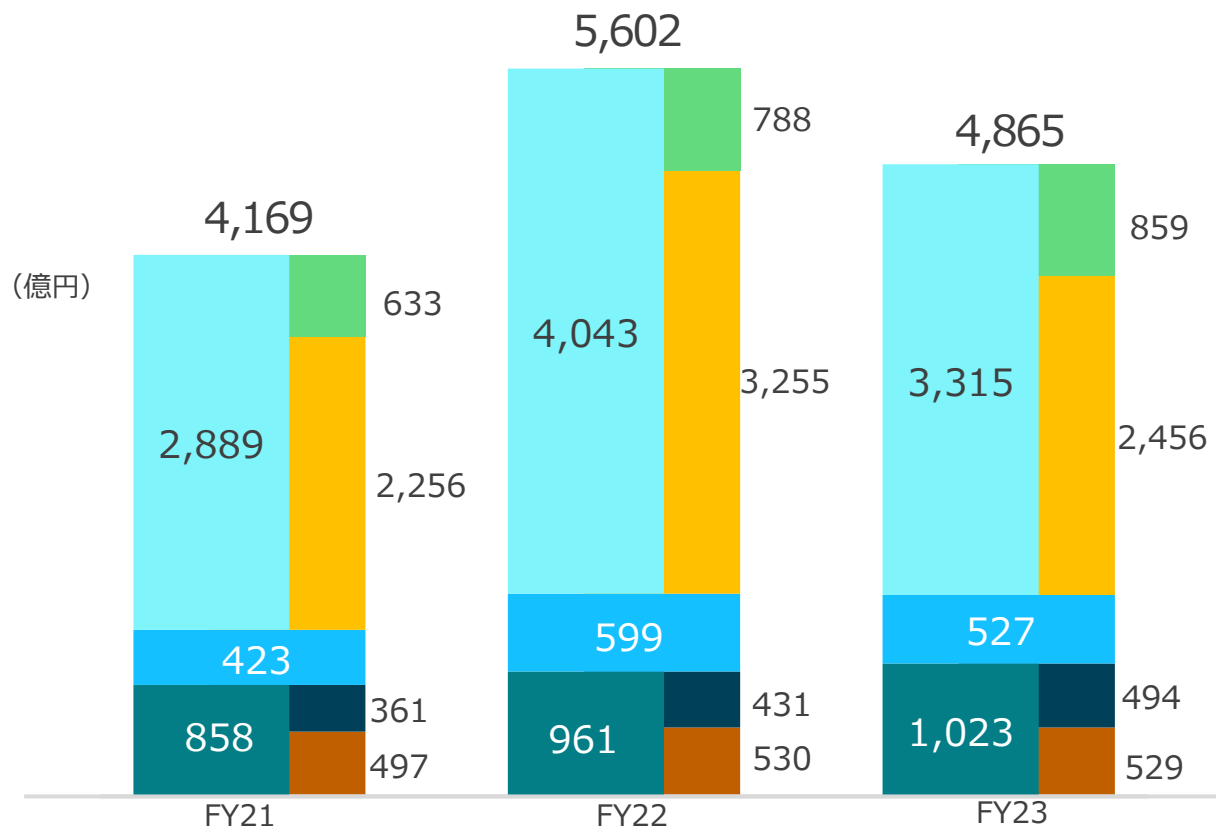
* 1:当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記1株当たり配当金はFY22期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています。

* 2:FY23の期末配当は2024年5月21日開催の取締役会において正式決定する予定です

* 3:総還元性向=(配当総額+自己株式取得額)÷当期利益

FY23売上実績 年度比較

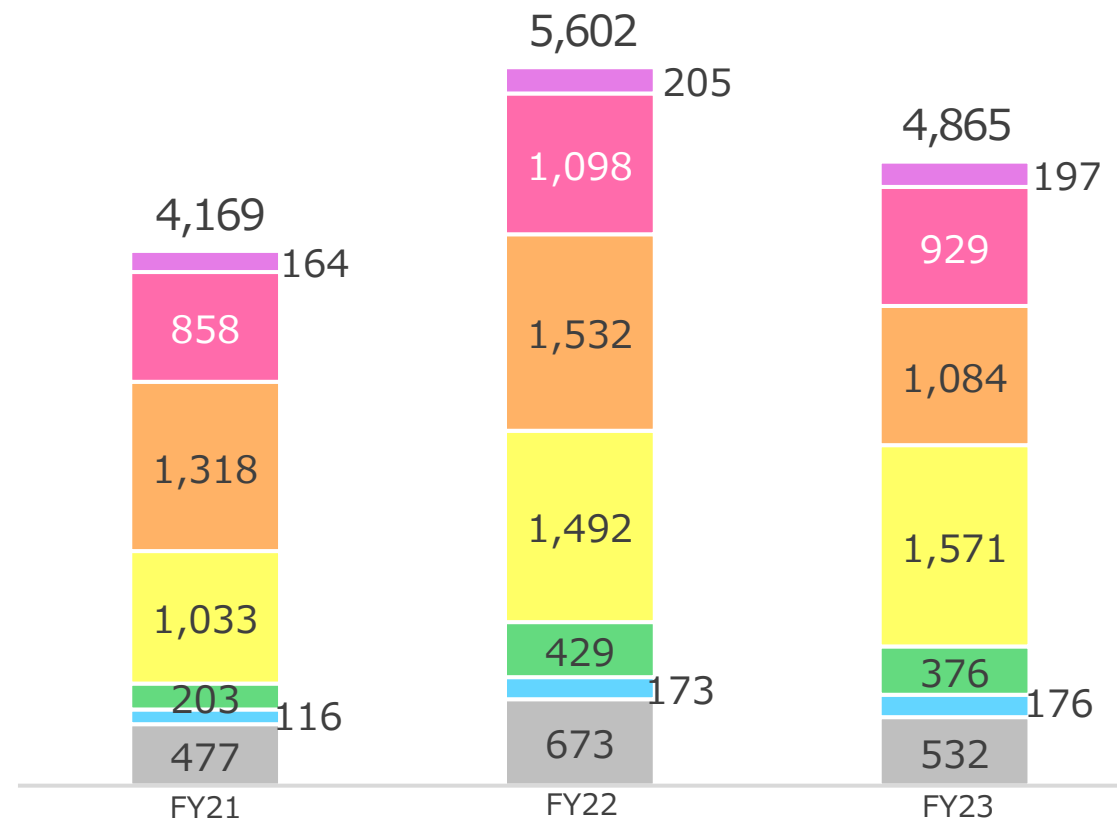
<事業別売上>



■半導体・部品 ■メカトロニクス ■サービス他 ■メモリ・テスト ■SoCテスト ■保守・サービス等 ■システムレベルテスト
 ■テストシステム事業 ■関連事業

*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

<地域（出荷先）別売上>



■日本 ■韓国 ■台湾 ■中国 ■米州 ■欧州 ■その他

96.1%

96.3%

95.9%

海外売上高比率

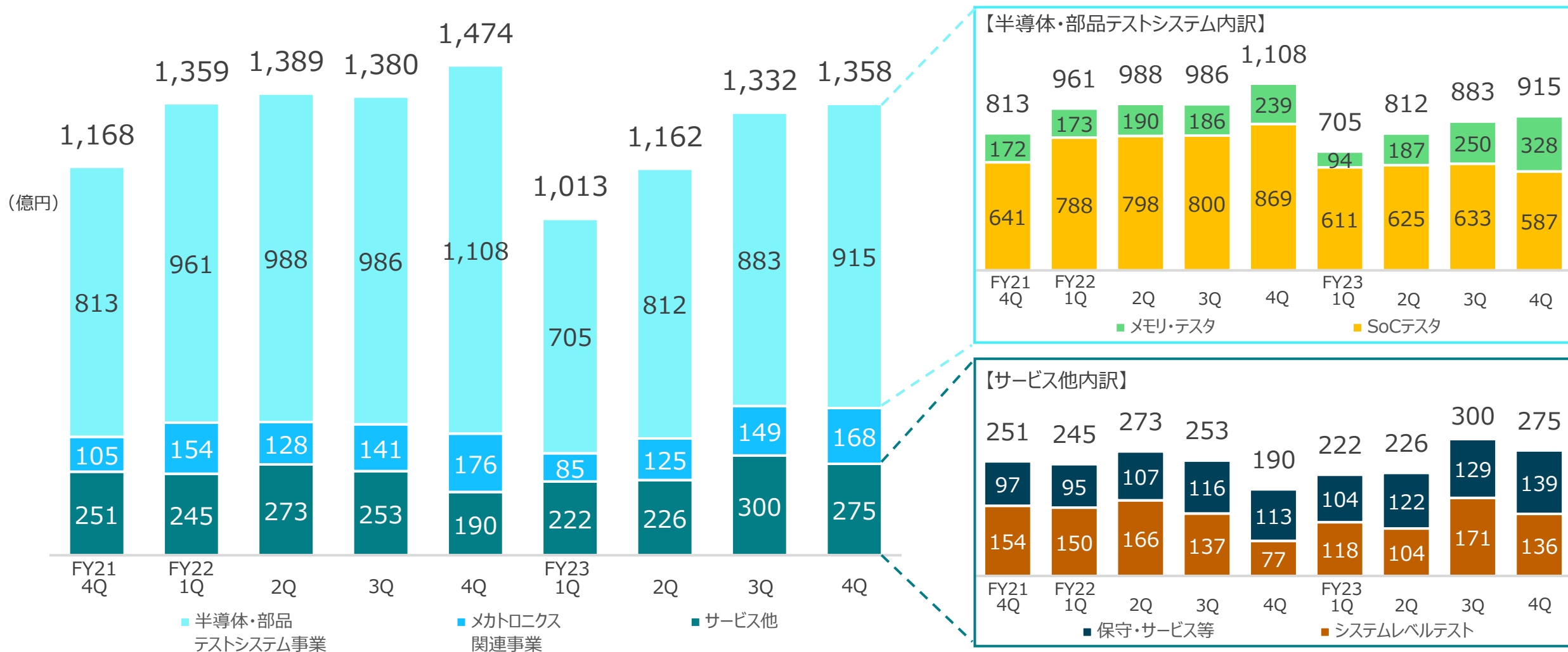
四半期業績推移

(億円)

	FY22				FY23				前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率	増減額	増減率
	売上高	1,359	1,389	1,380	1,474	1,013	1,162	1,332	1,358	+25	+1.9%	-116
売上総利益	789	799	816	787	510	580	674	696	+22	+3.3%	-91	-11.5%
売上総利益率	58.1%	57.5%	59.1%	53.4%	50.3%	49.9%	50.6%	51.3%	+0.7pts		-2.1pts	
営業利益	448	431	412	386	143	210	268	195	-73	-27.2%	-190	-49.3%
営業利益率	32.9%	31.1%	29.9%	26.2%	14.1%	18.1%	20.1%	14.4%	-5.7pts		-11.8pts	
税引前四半期利益	484	468	377	384	130	203	263	186	-76	-29.1%	-198	-51.6%
四半期利益	365	347	286	306	92	167	212	152	-61	-28.6%	-154	-50.5%
四半期利益率	26.8%	25.0%	20.8%	20.8%	9.1%	14.4%	15.9%	11.2%	-4.7pts		-9.6pts	
為替レート	1米ドル	124円	135円	144円	133円	135円	142円	149円	147円	2円 円高		14円 円安
	1ユーロ	134円	139円	144円	142円	146円	156円	159円	159円	-		17円 円安
1株当たり配当額*1	-	16.25円 (65円)	-	17.50円 (70円)	-	16.25円 (65円)	-	18円	-		+0.5円	

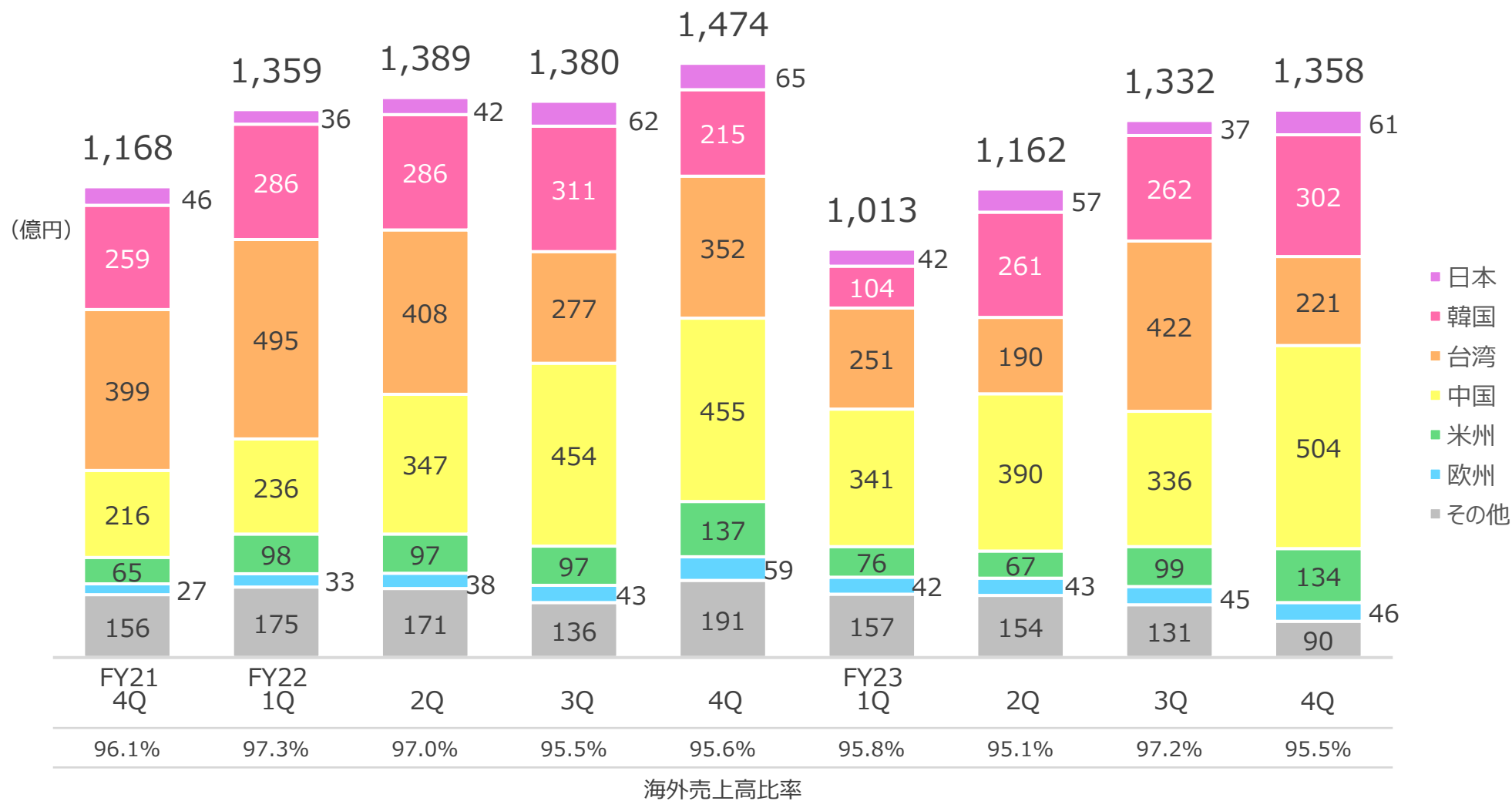
*1:当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記1株当たり配当金はFY22期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています。(カッコ内は分割前の値)

四半期売上高 事業セグメント別

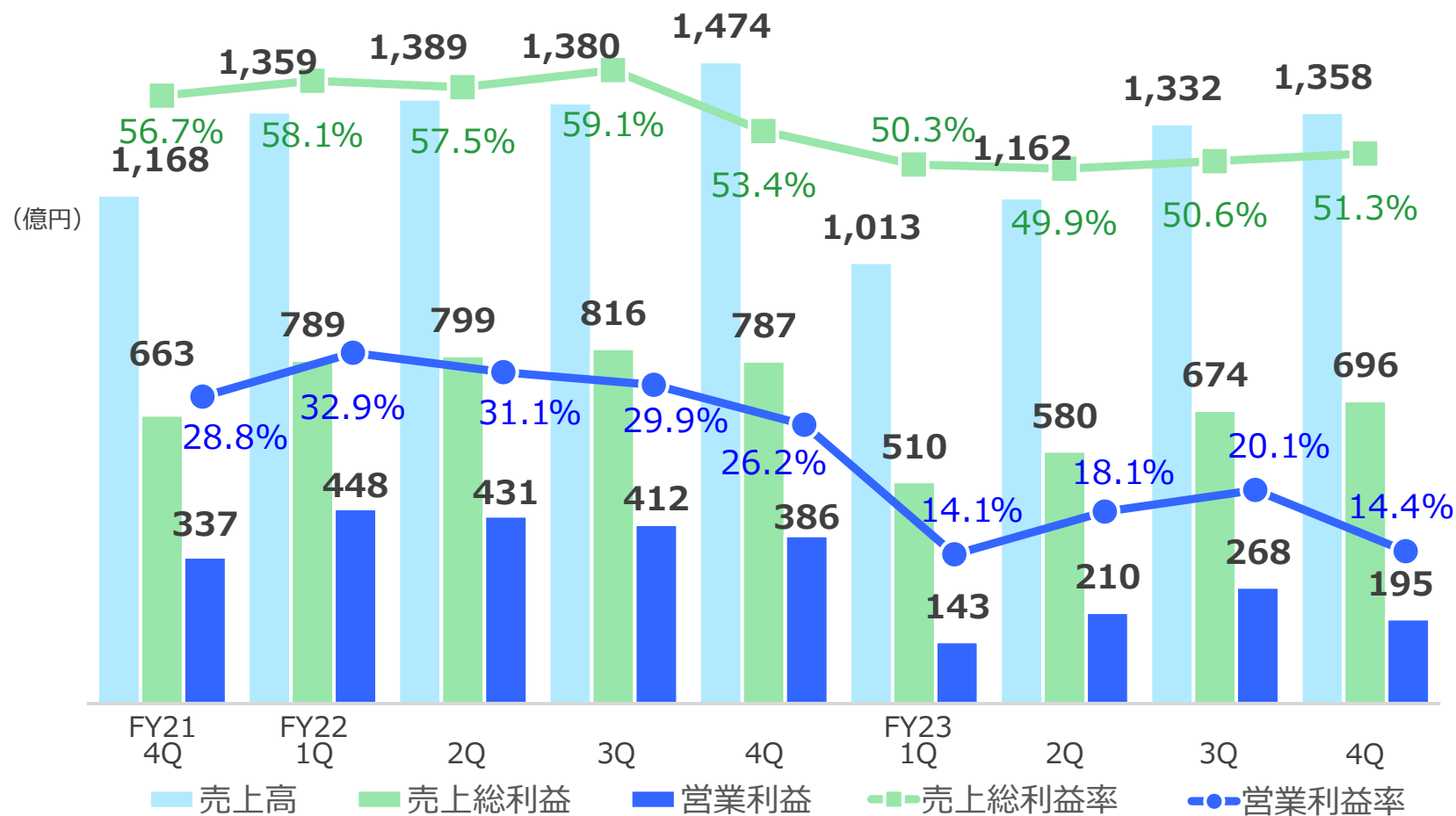


*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別



売上高/売上総利益/営業利益



(億円)

	FY22	FY23
売上高	5,602	4,865
売上総利益	3,191	2,460
売上総利益率	57.0%	50.6%
販管費等	1,514	1,644
営業利益	1,677	816
営業利益率	29.9%	16.8%

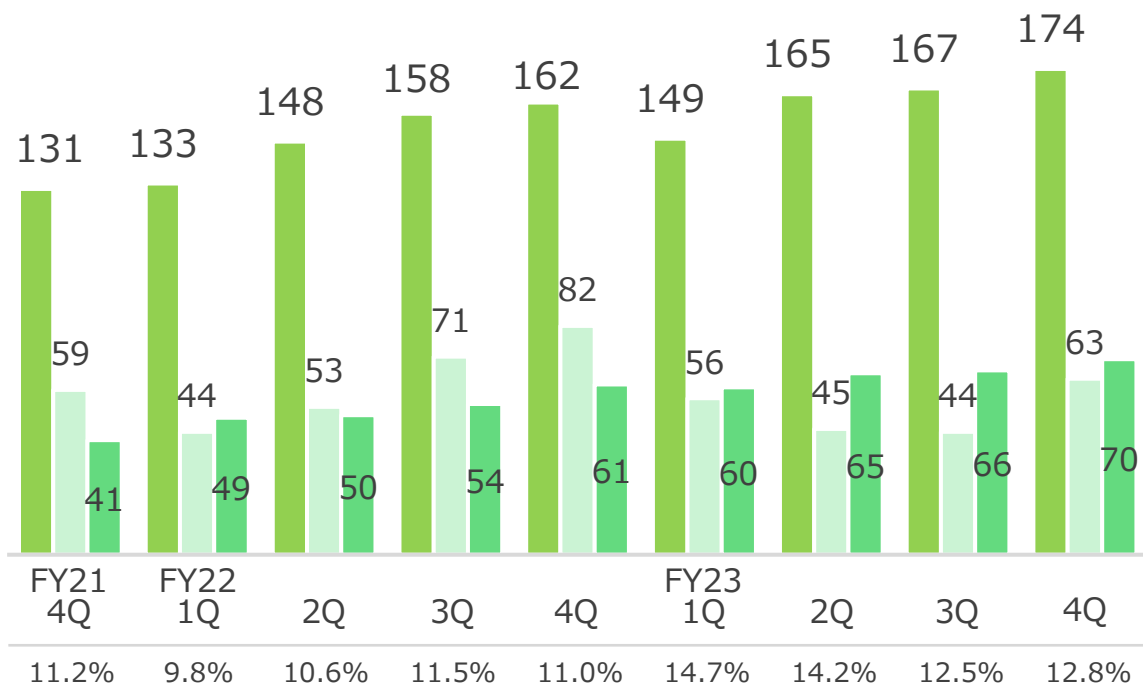
投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費

	FY22	FY23
研究開発費 売上高比率	601 10.7%	655 13.5%
設備投資	250	208
減価償却費	214	261

(億円)



研究開発費売上高比率

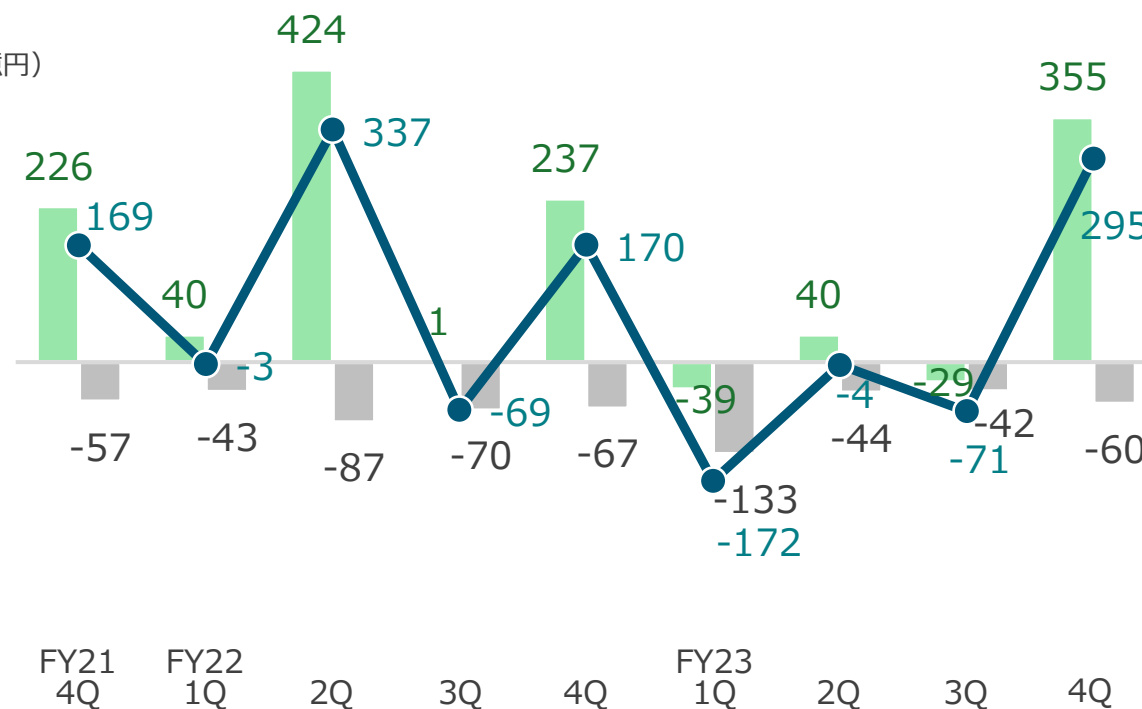
11.2% 9.8% 10.6% 11.5% 11.0% 14.7% 14.2% 12.5% 12.8%

<キャッシュ・フロー>

- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

	FY22	FY23
営業キャッシュ・フロー	702	327
投資キャッシュ・フロー	-267	-279
フリー・キャッシュ・フロー*	435	48

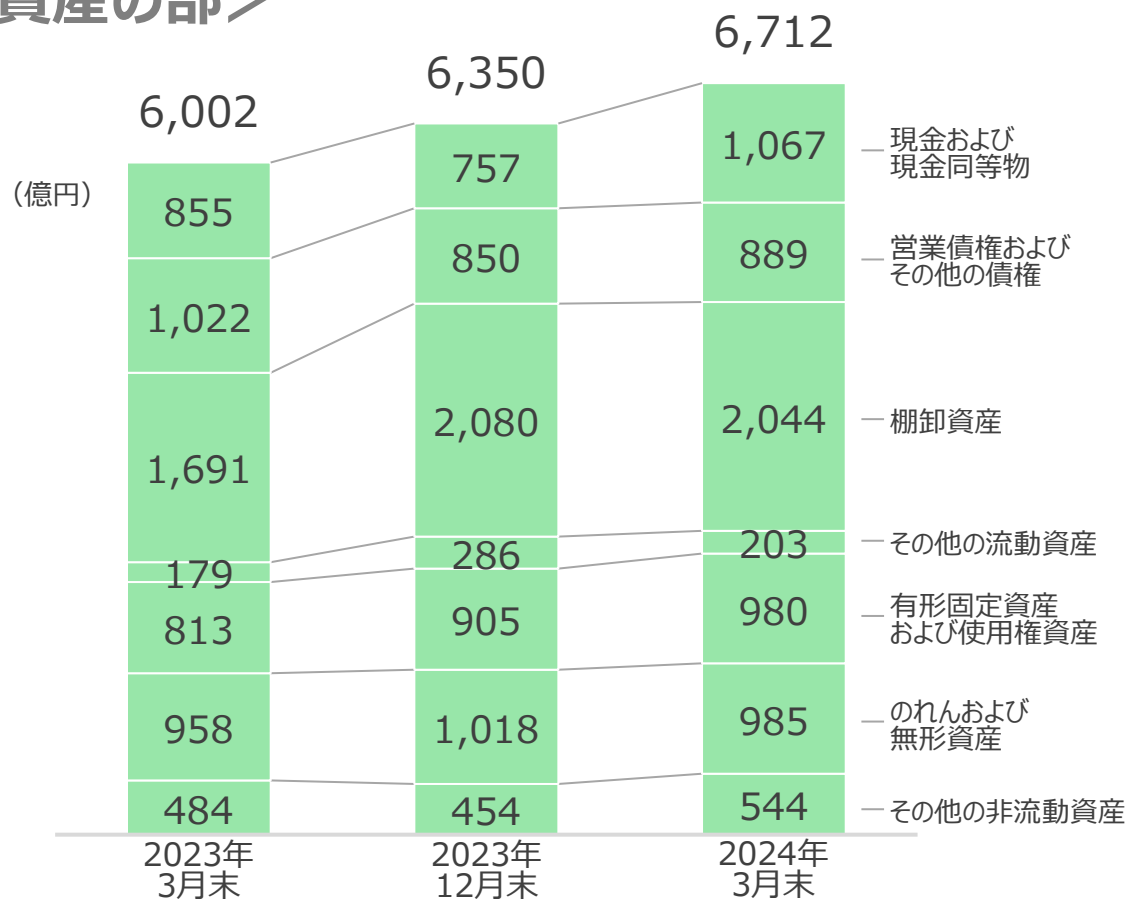
(億円)



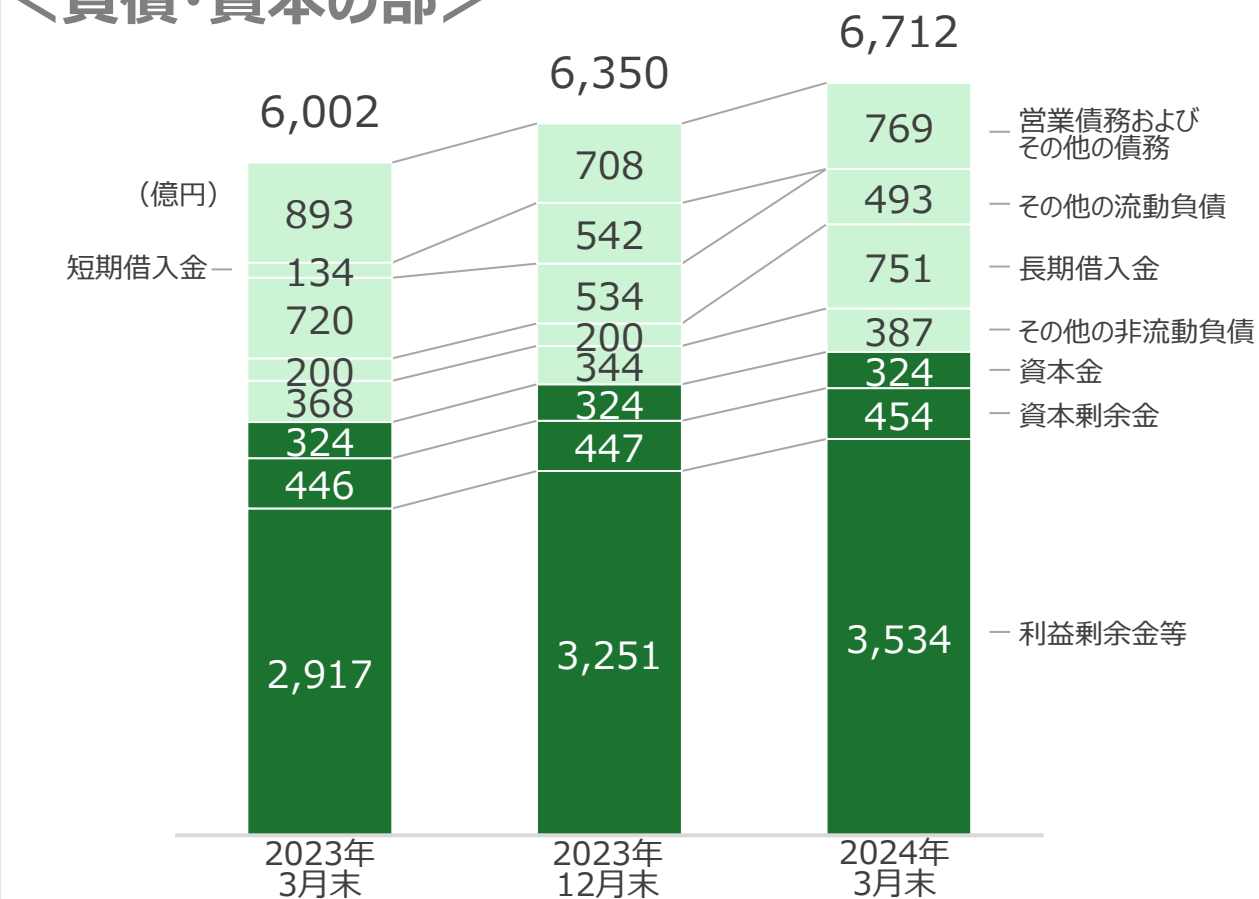
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	3,687	4,022	4,312
親会社所有者 帰属持分比率	61.4%	63.3%	64.2%
ROE	39.3%	-	15.6%

第2期中期経営計画（MTP2、FY21-23）の結果

想定以上の市場減速やミックス変化を受け、売上高は下限値を超過したものの収益性と資本効率目標は未達

	第1期中計実績 FY18-20平均	第2期中計 当初目標 (2021年5月) FY21-23平均	第2期中計目標 (2022年7月修正) FY21-23平均		FY21実績	FY22実績	FY23実績	第2期中計実績 FY21-23平均
売上高	2,904億円	3,500~3,800億円	4,800~5,200億円		4,169億円	5,602億円	4,865億円	4,879億円
営業利益率	22.3%	23~25%	27~30%		27.5%	29.9%	16.8%	24.7%
当期利益	601億円	620~700億円	980~1,200億円		873億円	1,304億円	623億円	933億円
ROE	29.1%	20%以上	30~35%		30.4%	39.3%	15.6%	28.4%
1株当たり 当期利益 (EPS)*1	77円	80~93円	128~158円		112円	174円	84円	124円
設備投資*2	302億円	(枠) 400億円	(枠) 700億円		180億円	250億円	208億円	639億円
M&A等戦略投資*2	477億円	(枠) 1,000億円	(枠) 1,000億円		290億円	35億円	83億円	407億円
株主還元額*2 (配当額+自己株式取得)	617億円	(想定) 1,500億円以上	(想定) 2,100億円以上		930億円	750億円	253億円	1,934億円
総還元性向	39%	(方針) 通期総還元性向50%以上を目標			107%	58%	41%	69%

*1:当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の株式分割を行ったため、従来の公表値から変更しています

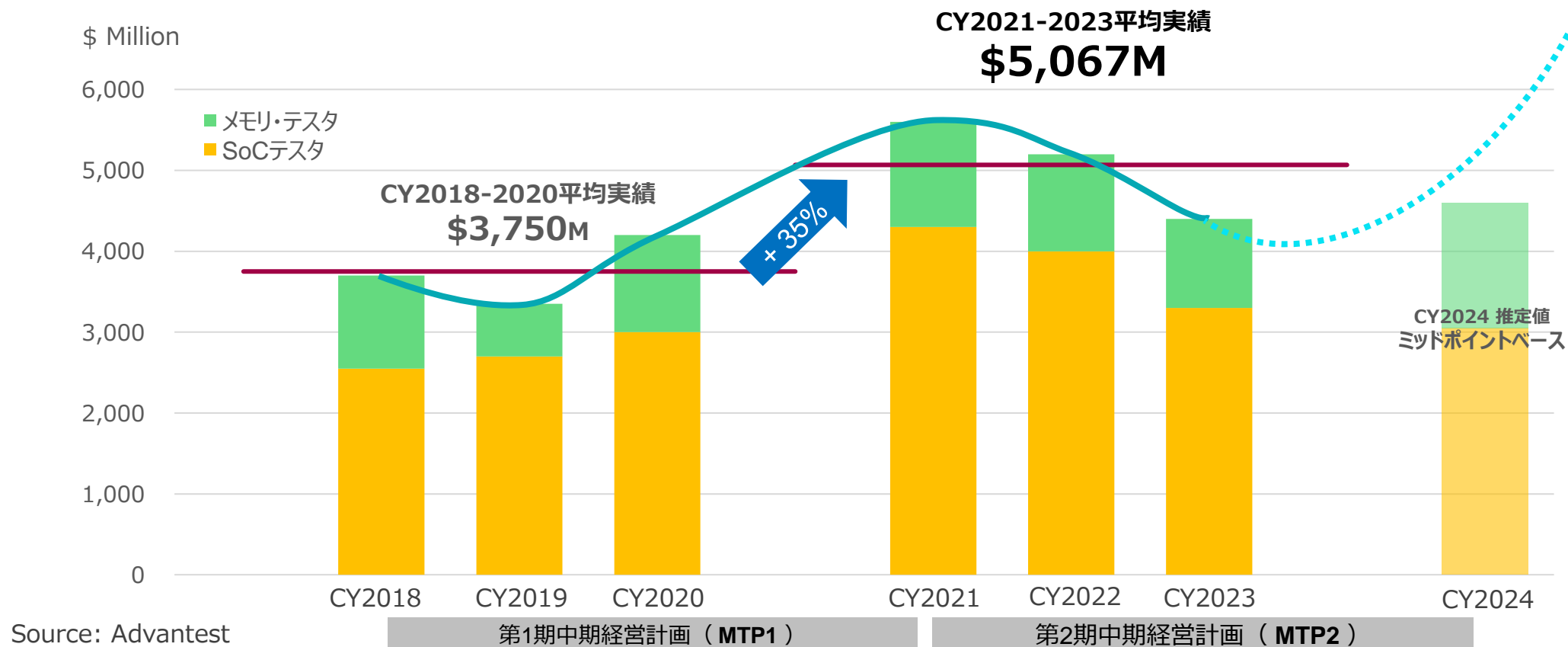
*2:第2期中計期間の設備投資、M&A等戦略投資の投資枠および株主還元額の想定は3年累計での金額となります

2024年度事業見通し

代表取締役 兼 経営執行役員 Group CEO Douglas Lefever

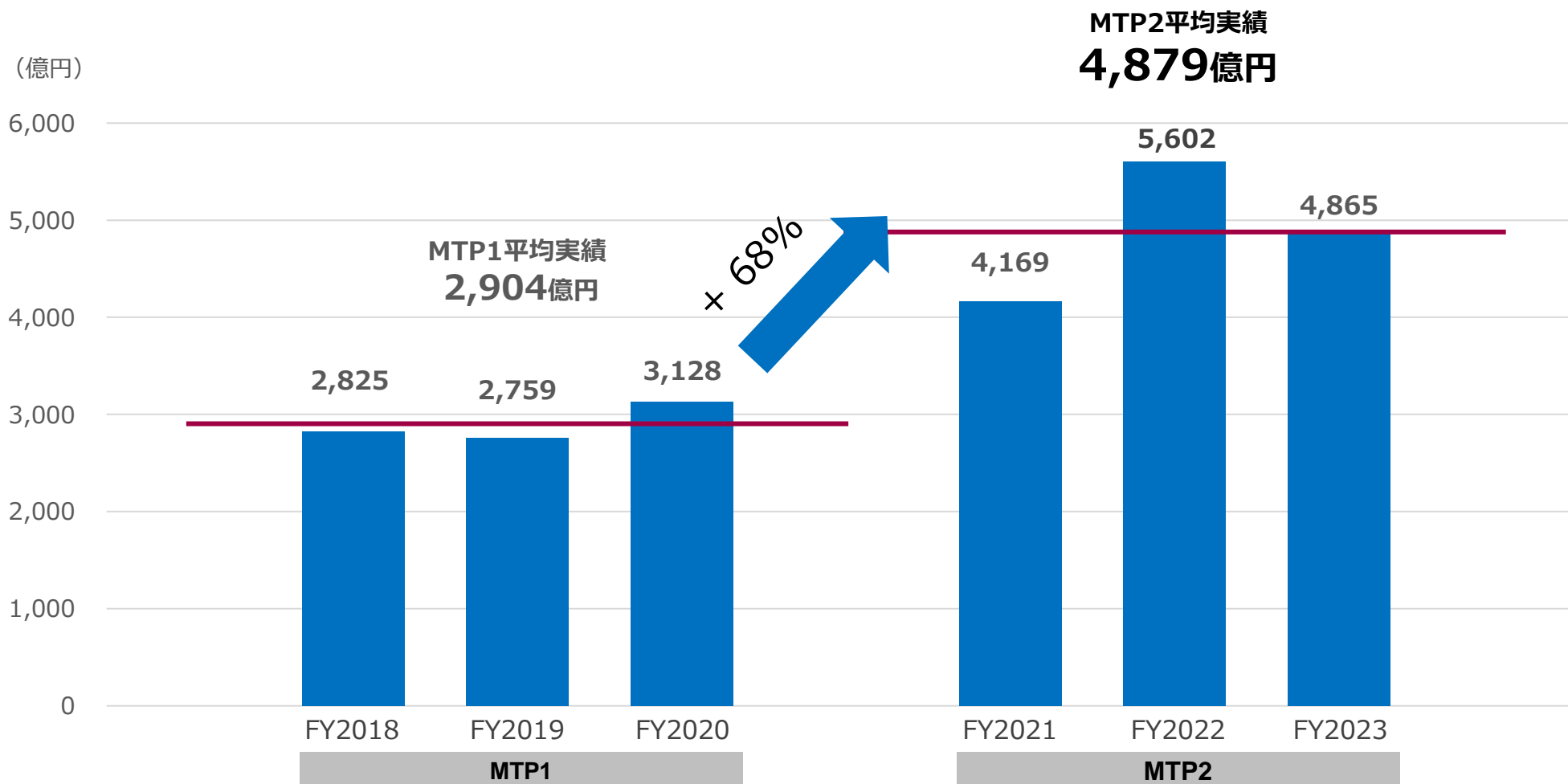
テスト市場の推移

- ✓ MTP1とMTP2の3か年平均のテスト市場規模は35%増加
- ✓ MTP3期間における市場前提は、精査途上であるが、テスト市場はCY23をボトムと見込む。CY24以降は、半導体がAIによりさらに複雑化することで、テスト需要はさらに拡大。新たなシクリカルグロース局面入りへ。



当社売上高推移

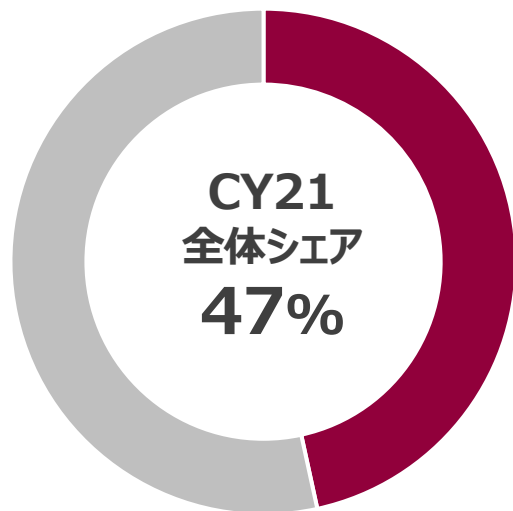
- ✓ MTP2における3か年平均の当社売上高は、MTP1比68%増加
- ✓ 為替面の好影響もあるが、市場シェア上昇を主因に当社の売上成長は同期間のテスト市場の伸び率を上回る



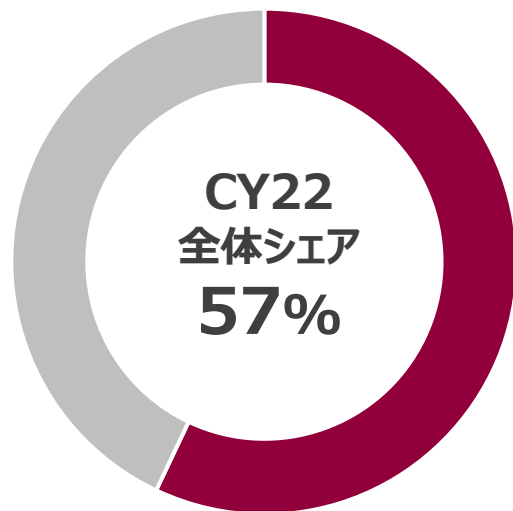
半導体テスト市場およびシェアの状況

市場規模 約\$5.6B → 前年比-6% → 約\$5.2B → 前年比-15% → 約\$4.4B

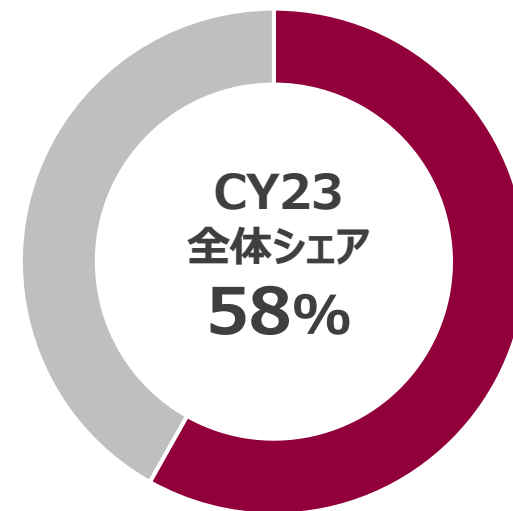
■ 当社
■ 他社



前年比
+ 10pts



前年比
+ 1pt



	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$4.3B	45%
メモリ・テスト	約\$1.3B	51%

	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$4.0B	58%
メモリ・テスト	約\$1.2B	53%

	市場規模	当社シェア
SoCテスト	約\$3.3B	59%
メモリ・テスト	約\$1.1B	56%

Source: Advantest

事業環境と半導体テスト市場の動向 <24年4月時点の見方>

<事業環境>

- 世界経済の景気後退懸念は、依然として払拭されていない。加えて地政学的リスクの拡大や急激な為替変動リスクなど、CY24も不確実性の高い状況は継続
- 半導体需給の改善が期待されるとともに、生成AI関連の投資の活発化が予想され、半導体市場は暦年後半から活況に転じる見込み

<半導体テスト市場>

- CY24の半導体テスト市場は、生成AI向けの需要の高まりに連動したテスト需要が増加すると見込む一方で、スマートフォンやPCなど主要な民生機器向け需要の低迷は長期化しており、回復の時期について不透明感が継続
- SoCテスト市場は、HPC/AI向けを軸に需要の立ち上がりをCY24後半に期待するも、車載・産機・民生向けでの弱含みから見通し引き下げ。メモリ・テスト市場は高性能DRAM向けでの引き続き旺盛な需要を見込み、見通し引き上げ

	CY22実績	CY23実績	CY24推定
SoCテスト市場	約\$4.0B	約\$3.3B (1月時点推定:約\$3.3B-3.4B)	約\$2.9B - 3.2B (1月時点推定:約\$3.3B-3.6B)
メモリ・テスト市場	約\$1.2B	約\$1.1B (1月時点推定:約\$1.1B)	約\$1.4B - 1.7B (1月時点推定:約\$1.3B-1.6B)

Source: Advantest

FY24業績予想

(億円)

	FY23 実績	FY24 予想	FY24 前年度比	
			増減額	増減率
			売上高*1	4,865
営業利益	816	900	+84	+10.3%
営業利益率	16.8%	17.1%	+0.3pts	
税引前利益	782	890	+108	+13.9%
当期利益	623	670	+47	+7.6%
当期利益率	12.8%	12.8%	+0.0pts	
研究開発費	655	670	+15	+2.3%
設備投資	208	220	+12	+5.8%
減価償却費	261	270	+9	+3.4%
為替レート*2	1米ドル	143円	140円	3円 円高
	1ユーロ	155円	155円	—

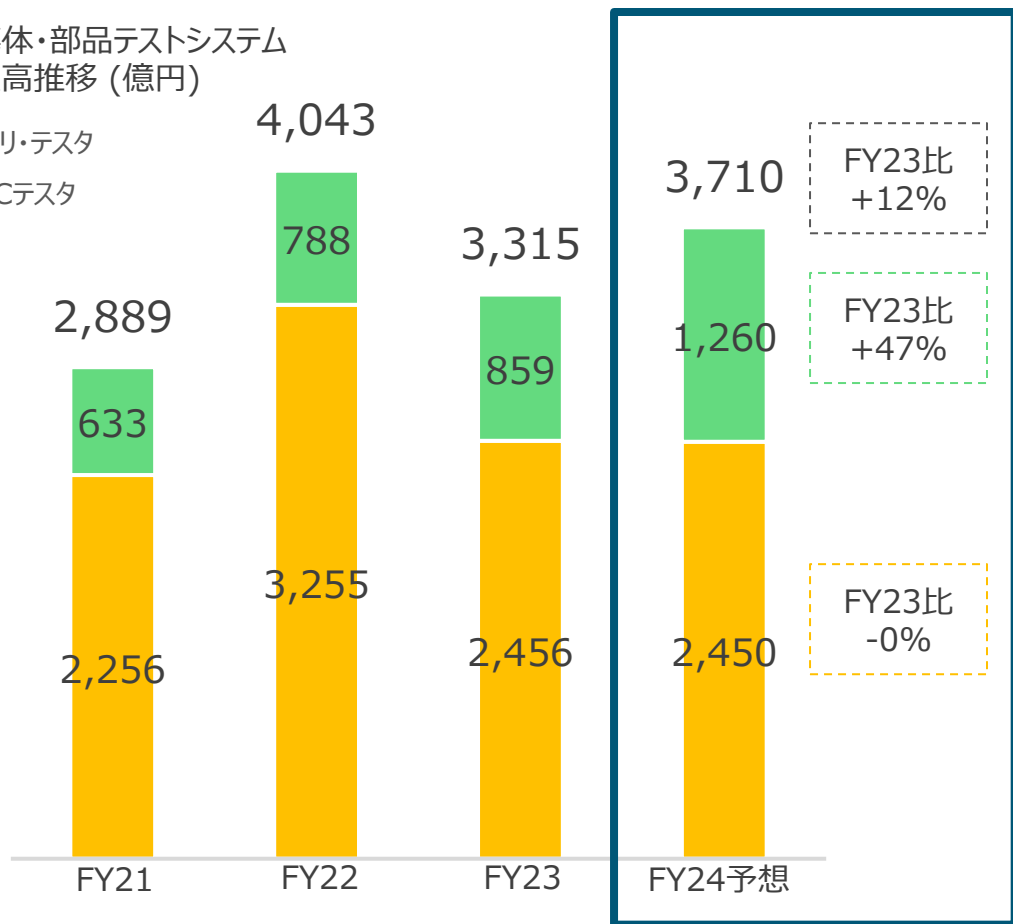
*1: 合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2: 為替レート変動がFY24の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+7億円です。対ユーロは-3億円です

FY24見通し (事業別)

半導体・部品テストシステム
売上高推移 (億円)

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>

– HPC/AIについては、生成AI関連向けでの強い需要を期待。一方で、車載・産業機器・民生向けでは一段売上が減少する見込み

アプリケーション別内訳	FY21	FY22	FY23	FY24(予)
コンピューティング・通信	60%	65%	60%	65%
車載・産業機器・民生・DDIC*	40%	35%	40%	35%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト>

– 生成AI関連で高性能DRAM向け売上の伸長を予想

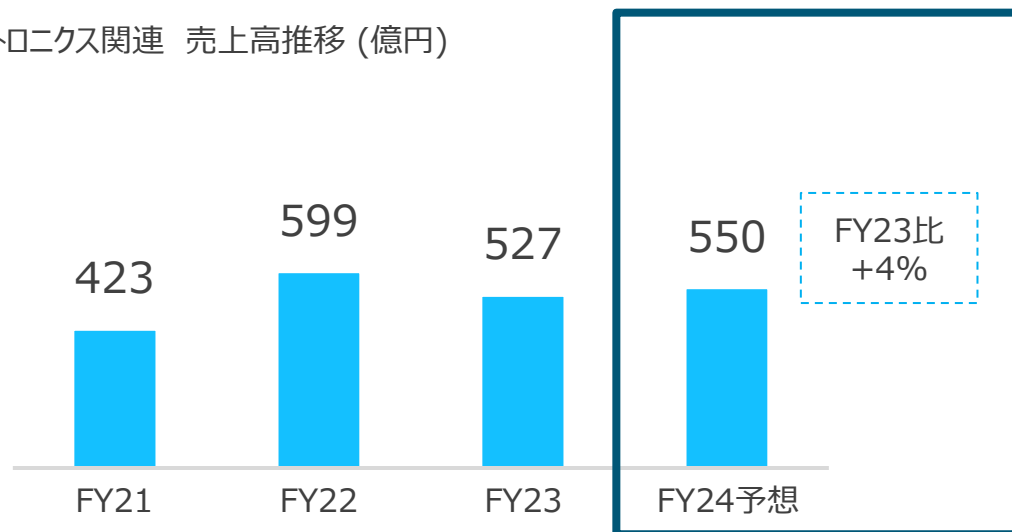
アプリケーション別内訳	FY21	FY22	FY23	FY24(予)
DRAM	60%	60%	90%	95%
不揮発性メモリ	40%	40%	10%	5%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC:ディスプレイ・ドライバーIC

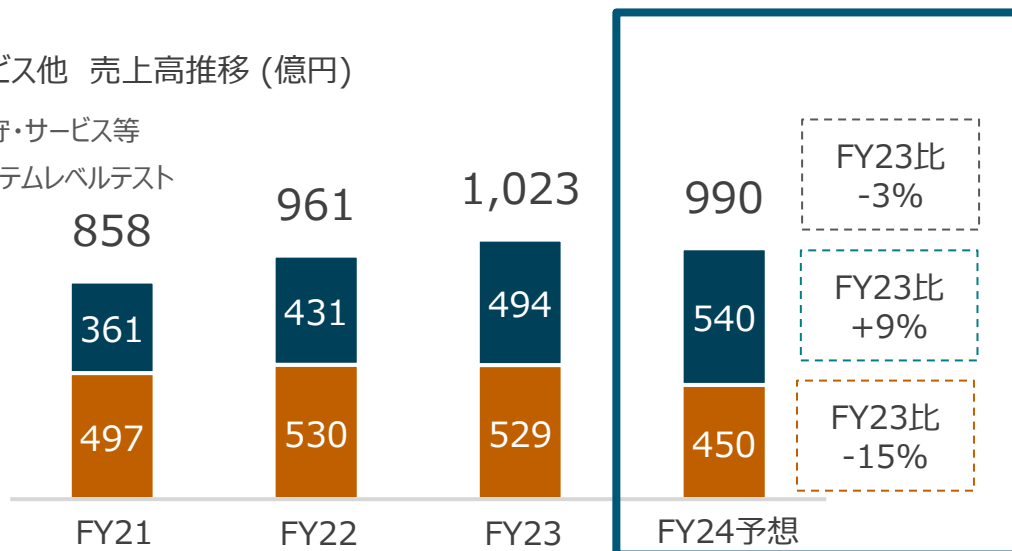
FY24見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



サービス他 売上高推移（億円）

- 保守・サービス等
- システムレベルテスト



メカトロニクス関連事業

- デバイス・インタフェース製品やテスト・ハンドラ、ナノテクノロジー製品の全ての事業で堅調な売上を予想

サービス他事業

- 当社製品の設置台数の着実な伸びにより、保守サービスの需要は堅調
- システムレベルテスト事業は、民生機器関連での不透明感継続を背景に、前年度比で減収見込み

FY24の主要施策

- **半導体の複雑化が進む高成長領域に向け、付加価値の高いソリューションの提供と供給体制の拡充**

- ✓ HBMなどの高成長領域の急峻なテスト需要の高まりに応じる供給体制のさらなる増強

- ✓ 先端技術の確立に挑むリーダ顧客の課題を把握し、最先端の試験技術開発と統合テスト・ソリューションを拡充

- ✓ 複雑な半導体の設計からシステムレベル、データ・アナリティクスまで、テスト工程を一貫してカバーする“Automation”の取り組みを通じさらなる顧客価値を創造

- **収益性改善の施策を推進**

- ✓ HPC/AI, 先端メモリなど高機能半導体における優位性の維持

- ✓ 今後の需要変動にも柔軟に追随するサプライチェーン管理および生産体制の高度化

中長期経営方針の改定

- MTP1・MTP2における製品ポートフォリオの拡充、事業領域の拡張、顧客サポート力の強化といった取り組みは、当社の成長基盤をより強固なものに
- 第3期中期経営計画（MTP3）を含め、当社の新たな中長期経営方針を策定中
 - 半導体ますます複雑化する中、“Automation”を通じてさらなる効率性をもたらすことで、コア市場の成長率を上回る成長を引き続き実現
 - 収益拡大に向け、オペレーショナル・エクセレンスへの取り組みを全社をあげて推進
 - 近縁市場や新たな事業領域への展開を継続
 - ネットゼロ実現を軸としたサステナビリティの取り組み強化
- 中長期経営方針説明会
2024年6月25日（火）午後（日本時間）の開催を予定



Facing the future together